



国立公園三瓶山 北斜面自然林

自然観察 モデルコース

島根県

山、海、川、豊かな自然に恵まれた島根県。その美しい自然に、いつでも誰でも手軽にふれあえるように作られているのが「自然観察モデルコース」で、県内各所に設置されています。

このリーフレットは三瓶山北斜面自然林で見ることが出来る動植物などを紹介しています。自然との出会いや新しい発見を探しに、自然観察に出かけてみてください。

危険な動植物に注意！

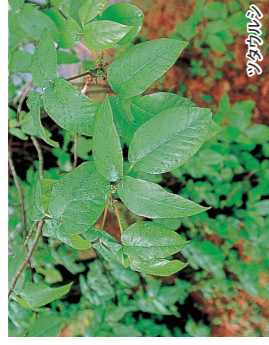
マムシ、ヤマカガシなどの毒ヘビ、スズメバチの仲間、ツタウルシやヤマウルシなどがぶれる植物、ツキヨタケなどの毒キノコには十分注意してください。毒ヘビやスズメバチの仲間、かぶれる植物には近づいたりさわったりしないことが、基本的な対策です。キノコは種類がわかりにくいものが多いので、確実なもの以外は食べないことが大切です（国立公園内では採集が規制されている場所もあります）。



マムシ



オオスズメバチ



ツタウルシ

ハチに刺されたら？：刺されたらすぐに流水で洗い流し、抗ヒスタミン剤を含んだステロイド軟膏を塗ると良いでしょう。ハチ毒に対してアレ르기ーを持っている人は、全身のぶるえ、嘔吐などの症状が出る場合がありますが、そのような時は、すぐに病院に行き手当を受けて下さい。

マムシなどの毒蛇に咬まれたら？：できるだけ早く病院に行き手当を受けることが第一です。吸出器があれば、その場で吸い出すことは良いですが、ナイフなどで傷口を開くような処置は、決して行わないで下さい。

マナーを守って、楽しい散策

三瓶山一帯は、すぐれた自然環境や風致景観が評価され、大山隠岐国立公園に指定されています。国立公園などの自然公園では、すぐれた自然を守るために、様々なルールが決められています。例えば、建物を建てたり、木を切ったり、土や草を取ったりすることが禁止されている場所があります。また、貴重な植物については採集が規制されています。このようなルールを守って、あとから来る人々も素敵な自然を楽しめるようご協力ください。

平成18年3月発行

編集 財団法人三瓶フィールドミュージアム財団
(島根県立三瓶自然館サヒメル)
島根県大田市三瓶町多根1121-8 Tel.0854-86-0500

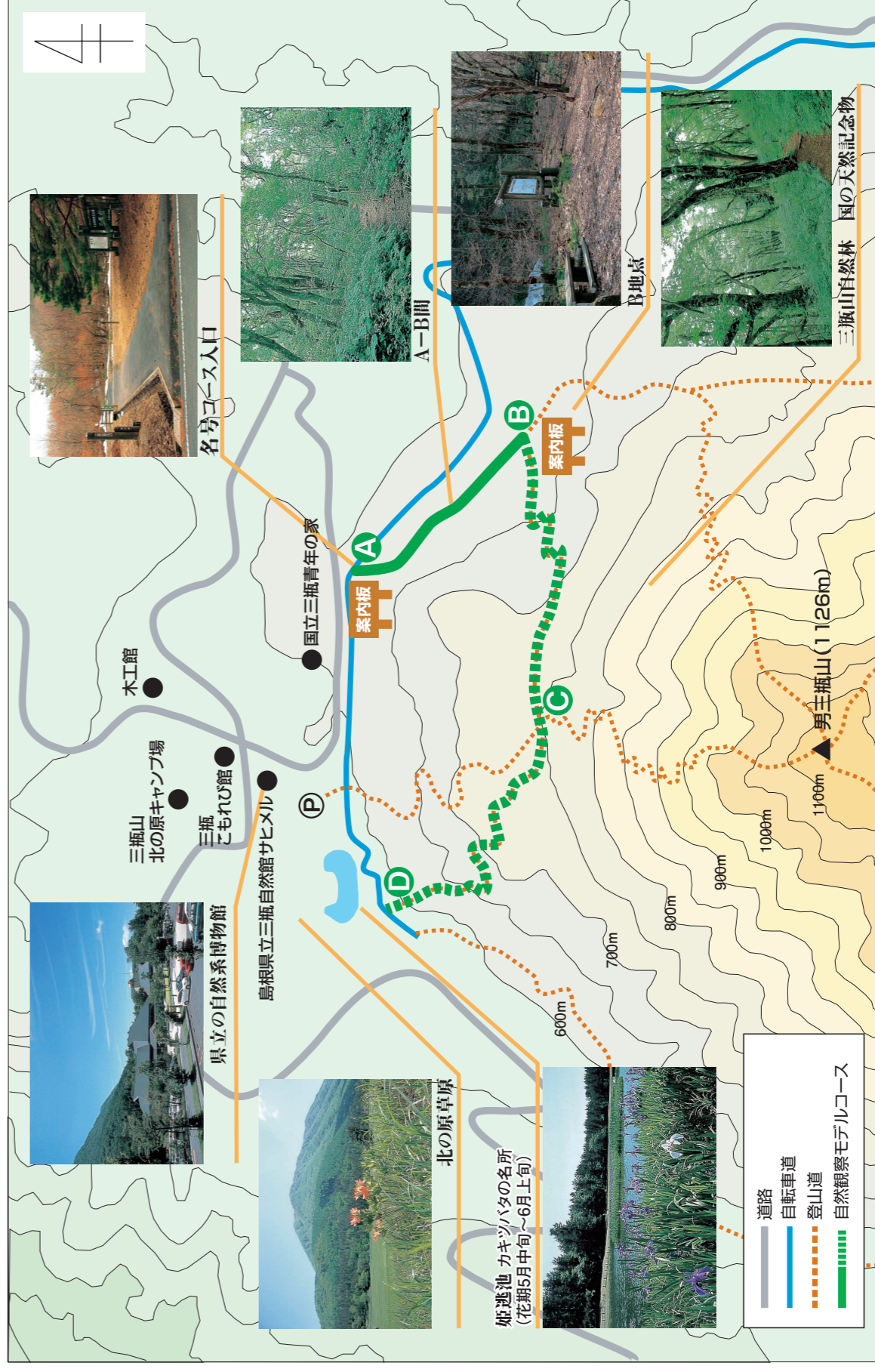
発行 島根県環境生活部自然環境課
島根県松江市殿町一番地 Tel.0852-22-5347
<http://www.pref.shimane.lg.jp/shizenkankyo/>

マナーを守って
楽しい
散策を



モデルコースの概要

三瓶山は島根県のほぼ中央に位置するトロイデ型の火山で、山麓に広がる牧歌的な草原景観、三瓶山北斜面に残る自然林など、豊かな自然を見ることができます。三瓶山北斜面自然林の自然観察モデルコースは、下の図のA～Dへ至る約2,500m、約1時間のコースです。男三瓶山への登山道や中国自然歩道を歩くこととなります。



A-B間

おすすめコース A地点は登山道「名号コース」の入口で、中国自然歩道の大きな案内板があります。シデ類やオニグルミの森のなかを歩きます。

B-C間

B地点は、登山道と中国自然歩道が合流する場所で、大きな案内板とベンチがあります。標高が上がってくると、ブナや天然のスキ(アッシュギ)がみられるようになります。

C-D間

C地点は、登山道「姫迷コース」と中国自然歩道とが交差する場所です。周囲ではカラマツが植えられています。サイクリングロードとの交差がD地点です。

春

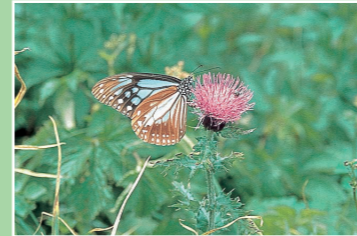
4月もなかばを過ぎると、自然林にもようやく遅い春がやって来ます。木々の葉が開きはじめる頃、スマレサイシ、ミヤマカタバミなどが林床を彩り、春の女神「ギフチョウ」が舞い始めます。木々の葉が生えそろう5月になると、本格的な春を迎えます。



ユキワライチゲ



ミヤマキケマン



アサギマダラ



コアシサイ



クルマバソウ



ヒトリシズカ



ゴダラカミキリ



イワガラミ



夏

6月に入ると森の木々はすっかりと葉を広げ終え、山々は濃い緑で覆われます。林内ではウリノキ、イワガラミなどの花が目につくようになります。春から初夏は鳥たちの繁殖期で、いろいろな野鳥たちのさえずりが、あちこちから聞こえるようになります。



スマレサイシ



ヤマエンゴサク



クロモジ



マムシグサ



カストムシ



タニウツギ



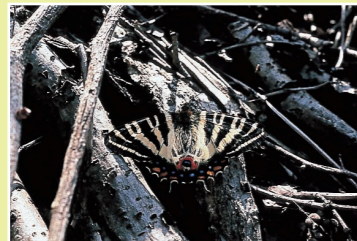
ウリノキ



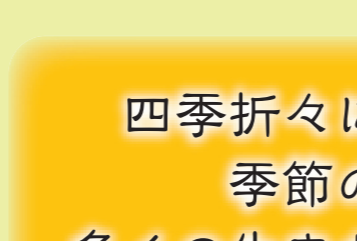
ウツギ



ミヤマカタバミ



ギフチョウ



四季折々に彩りをかえ
季節の草花や
多くの生きものをはぐくむ
三瓶山の自然林

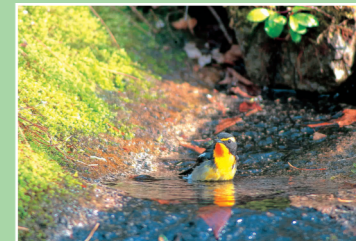
三瓶山は国立公園です。美しい自然を次の世代の人々も楽しめるよう、現地での保護にご協力下さい。



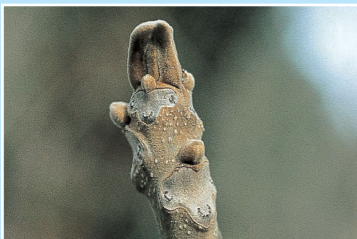
ガマズミ



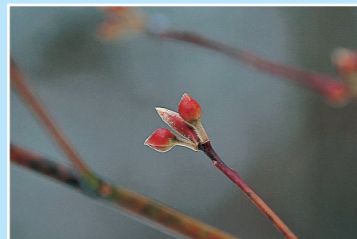
ヤマボウシ



キビタキ



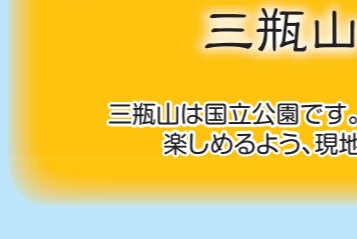
オニグルミの葉痕



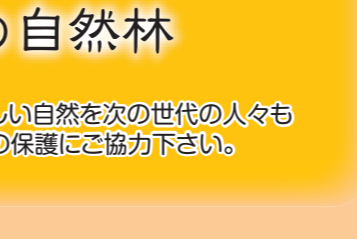
クロモジの冬芽



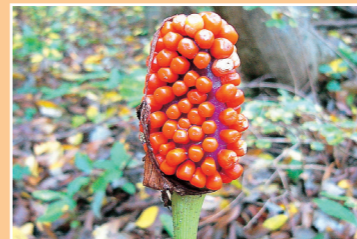
ノウサギの足跡



ネズミ類の食痕のある
オニグルミの果実



アキチヨウジ



マムシグサの果実



ナナカマド



クヌギのドングリ



カラスザンショウの葉痕



ヤドリギ



テン



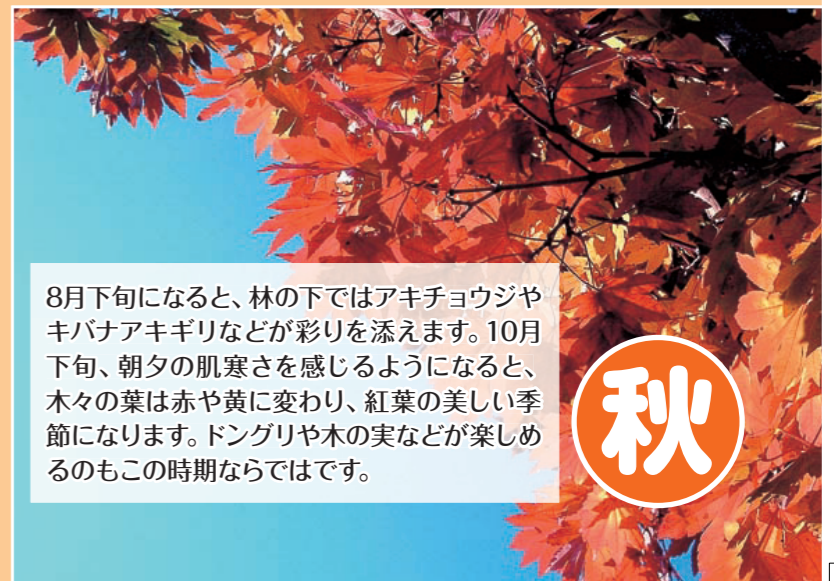
ウスタビガのまゆ



ウリハダカエデ



キバナアキギリ



秋

8月下旬になると、林の下ではアキチヨウジやキバナアキギリなどが彩りを添えます。10月下旬、朝夕の肌寒さを感じるようになると、木々の葉は赤や黄に変わり、紅葉の美しい季節になります。ドングリや木の実などが楽しめるのもこの時期ならではのです。

冬

厳しい寒さと深い雪に閉ざされた冬の自然林でも、脈々と続く生きものたちの生活を垣間見ることができます。雪に残る動物たちの足跡、食べ物の跡は、冬の観察の楽しみのひとつです。冬枯れの中のヤマユガの仲間のマユは、森の宝石のようです。



テンの足跡



クスサンのまゆ



ツルリンドウ



ツキヨタケ(毒)